

## 平成 29 年度 地域復興実用化開発等促進事業費補助金（第 2 次公募）

## 採択一覧

## 1 ロボット分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名 《法人番号》	所在地
1	UAV を利用した災害時即時情報収集システムの技術開発	洪水、斜面崩壊、土石流、山火事などの自然災害時に、災害の状況を UAV で取得し、関連機関（市町村、警察、消防等）への情報提供を迅速に行うことが可能なシステムを開発する。	(株)大和田測量設計 《3380001016764》	広野町
2	量産を見据えた高信頼性マルチコプター実用化開発	現状のマルチコプターは海外製の部品等を使用していることが多く、実用化にはシステム全体の製品寿命や各部品性能の信頼性など製品保証の課題がある。これを踏まえ、部品の消耗状態や故障を把握し自己診断機能を有する、量産を見据えた高信頼性マルチコプターの実用化開発を目指す。	(株)菊池製作所 《6010101000917》	南相馬市
3	UAV の SLAM 制御による点検技術の開発	SLAM 技術を活用した非 GNSS 環境での制御・衝突回避機能を保有した UAV を開発する。福島県におけるインフラ・施設の点検に活用可能性があるのと同時に、ニーズは世界各国にあると想定され、機体製造を浜通りで行うことで地元経済にも貢献を図る。	Terra Drone(株) 《5011001109543》	南相馬市
4	自動運転に係る情報基盤の構築及びまちなか巡回車両の実用化に向けた実証実験	自動運転車両が利用可能な情報基盤の構築を行い、情報の相互利用性を高めることで将来的な自動運転に係るコスト低減を目指す。初年度は自動運転車両 1 台による 2km 圏における巡回運行を行い、順次車両の追加、運行ルートの拡大を実施する。	Haloworld(株) 《3380001026532》	いわき市
			(株)会津ラボ 《9380001018326》	会津若松市
5	ドローン用超軽量機材と小型燃料電池システムの開発	最大離陸重量 25kg 未満の無人航空機（ドローン）の長時間飛行と、制限重量内における積載量の増加を目指して、超軽量炭素繊維複合材料と小型燃料電池からなる電源供給システムで構成される高性能ドローンの開発を進める。	(株)星山工業 《1380001016329》	南相馬市

## 2 エネルギー分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名 《法人番号》	所在地
1	非常用マグネシウム燃料電池ベースユニットの開発	停電時に数日間、照明、テレビ、調理などに使用可能な数百ワット出力を持ち、かつ燃料交換により何度も使用可能な電池の試作に成功している。本事業では、未経験者でも簡単な操作ですぐに使える電池の実用化を目指す。	(株)シンエイ 《1380001020173》	南相馬市
			YTS International (株) 《7010801027341》	東京都
2	発電用燃料としての建設廃棄物からの高品質 RPF(廃プラスチック固形化燃料)製造技術の開発	従来 RPF 製造に不向きとされている建設廃棄物から高品質な RPF を製造し、それを燃料に廃棄物発電することで、安価なグリーンエネルギーかつベース電源を確保することができる。この電気については基本的に地元で使用してもらうことで、地産地消型の発電モデルを確立するとともに、電解水素製造への利用も検討する。	(株)タケエイ 《9010401077017》	相馬市

### 3 環境・リサイクル分野

※採択なし

### 4 農林水産業分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名 《法人番号》	所在地
1	中大規模木造建築物に対応した新たな接合方式の開発	建設需要に対する恒常的な労務不足への対応や、建設部門が取り組むべき地球温暖化への貢献など、昨今の社会状況を踏まえ、製作時及び施工現場での労務量の大幅な削減と規格部材のリユースによる環境負荷の低減を可能にする新たな接合方式の実用化開発を目指す。	(株)ダイテック 《8380001013261》	いわき市
2	耐気候型屋内農場における大型イチゴ生産の自動化	寒冷地域において、通年で大果イチゴを生産するため、栽培～収穫・出荷までの工程を自動化し、耐気候型の低コスト屋内農場を建設する。これに、G-GAP 取得支援メニューを組み合わせた生産者支援統合サービスを課金式で提供する事業を構築する。	プランツラボラトリー(株) 《8010401114976》	田村市

### 5 環境回復、放射線分野

※採択なし

### 6 医学（医療機器等）分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名 《法人番号》	所在地
1	地域医療を支える往診型一次救急支援、遠隔による診療・決済、及び高齢者見守りシステムの開発事業	モバイル端末を接続したクラウド型システム及びいわき市に設置したオペレーションセンターにおける人的作業を複合的に活用した(i)夜間休日の往診型の一次救急支援システムの開発、(ii)DtoNtoPを想定した遠隔による診療・決済システムの開発、及び(iii)高齢者の見守りシステムの開発を目指す。	(株)HealtheeOne 《5380001025788》	いわき市